



2013年6月12日

報道関係各位

日本ヒルズ・コルゲート株式会社

**愛犬のダイエット、失敗要因は人間と同じ!?**  
**女性ペットオーナーの犬「食事以外のおやつ(81.1%)」、**  
**男性ペットオーナーの犬「運動不足(81.2%)」**  
約6割が「自分のダイエットと同等、それ以上に大変だった」と回答

日本ヒルズ・コルゲート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：ジョイ クレメンチック、以下 日本ヒルズ）は、この度、飼育する愛犬のダイエットに挑戦した事のある20代～70代の男女（600名）を対象に、愛犬の肥満とダイエットに関する意識調査を実施しました。

調査の結果、愛犬のダイエットの失敗要因は、女性ペットオーナーの場合「食事以外のおやつを与えてしまった」、男性ペットオーナーの場合「散歩以外の運動量を増やせなかった」が1位となり、失敗の要因はペットオーナーの性別で異なることが分かりました。

また、愛犬のダイエットの難易度に関しては、「自分のダイエットと同じくらい(33.3%)」「自分以上(23.8%)」に大変だったと回答し、愛犬のダイエットを大変に感じた人が57%という結果になりました。一方で、動物病院で減量指導を受けたと回答した方においては、ダイエットの成功率が約10%も高い結果となりました。実に、その9割が、動物病院での減量指導が成功の秘訣と回答するなど、動物病院の指導のもとにダイエットに取り組むことが効果的であるということが明らかになりました。

【調査方法】 アンケート調査（インターネット調査による）

【調査期間】 2013年5月17日～2013年5月18日 【有効回答者数】 600件

※注： 回答結果はパーセント表示を行っており、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

## 【主な調査結果】

### ■ ダイエット失敗の3大要因は「運動不足」「おやつ」「意識の低さ」、特に女性はおやつに注意

愛犬のダイエットの失敗要因は、「散歩以外の運動量を増やせなかった(80.1%)」、以下「食事以外のおやつを与えてしまった(75.3%)」「ダイエットの意識を高められなかった(73.8%)」と続きました。ペットオーナーの性別でみると、男性は「散歩以外の運動量を増やせなかった」、女性では「食事以外のおやつを与えてしまった」が1位となり、失敗の要因はペットオーナーの性別で異なることがうかがえました。＜調査結果4＞

### ■ 愛犬のダイエットは、人間のダイエットよりも大変!?

愛犬のダイエットの際に、自分も一緒にダイエットを実施したペットオーナーは31.5%。そのうち57.1%ものペットオーナーが「自分のダイエットと同じくらい、それ以上に大変だった」と回答するなど、愛犬のダイエットは意外に難しいことが明らかになりました。＜調査結果2＞

### ■ 動物病院での減量指導で、愛犬のダイエット成功率は約10%アップ

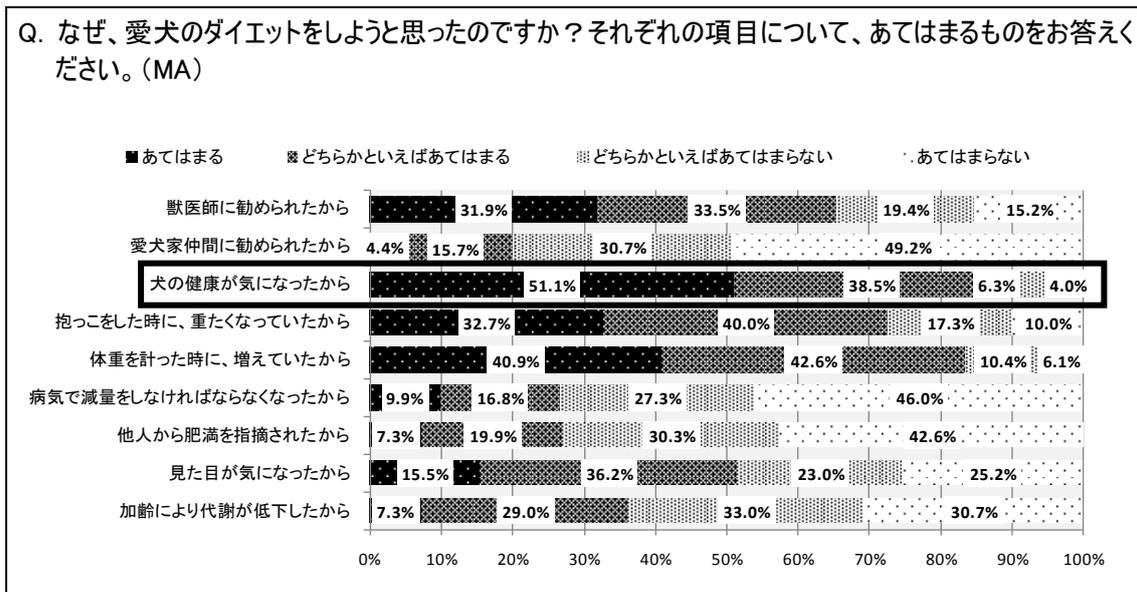
愛犬のダイエットの成功率は動物病院で減量指導を受けた方の場合75.4%と、自己流ダイエット(66.4%)より約10%高い成功率になりました。＜調査結果3＞

—本資料に関するお問合せ—  
株式会社 インテグレート 担当:杉浦、伊丹  
TEL:03-5771-9959 FAX:03-5771-5524

## <調査結果>

### 1. ダイエットのきっかけは「犬の健康が気になったから(89.3%)」

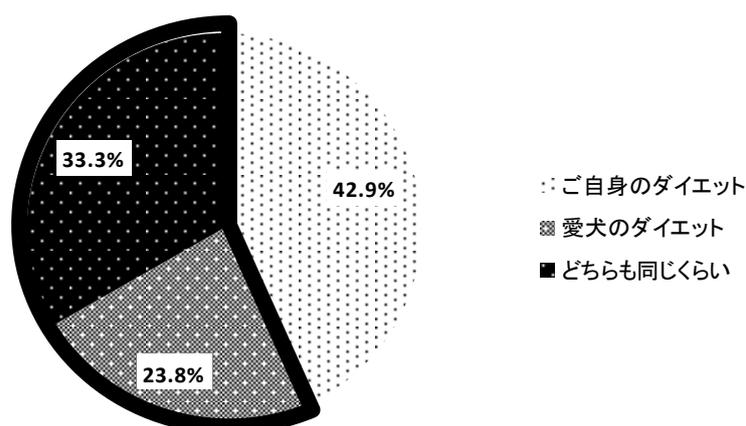
ダイエットのきっかけに関しては、1位が「愛犬の健康が気になったから(89.3%)」、2位と3位に「体重を測った時に、増えていたから(83.3%)」「抱っこした時に、重たくなっていたから(72.1%)」と続きました。犬の肥満は見た目だけでは分かりにくく、定期的に体重を測るなど、日頃の体重管理が重要と言えるかもしれません。肥満が様々な疾患を引き起こす可能性があることは、人間も犬も同じです。ペットにおいても「健康第一」がダイエットをするきっかけとなっているように読み取れます。



### 2. 愛犬のダイエットは、自分のダイエットより大変！？

愛犬のダイエットの際に、自身も一緒にダイエットを実施したペットオーナーは31.5%。そのうち23.8%が「自分のダイエットより愛犬のダイエットの方が大変だった」、33.3%が「自分のダイエットと同じくらい大変だった」と回答するなど、愛犬のダイエットの大変さが浮き彫りになりました。苦労した点については、「今まで与えていた物をあげたいけどあげられない状態がなかった。」「自分だけでなく、家族が隠れて勝手におやつを与え、犬に喜ばれようとする。」などが挙げられました。愛犬が我慢させられている様子が可哀相ということもさることながら、ペットオーナーや家族にとってもご飯やおやつを十分与えられないことがストレスであり、大変だという結果につながりました。

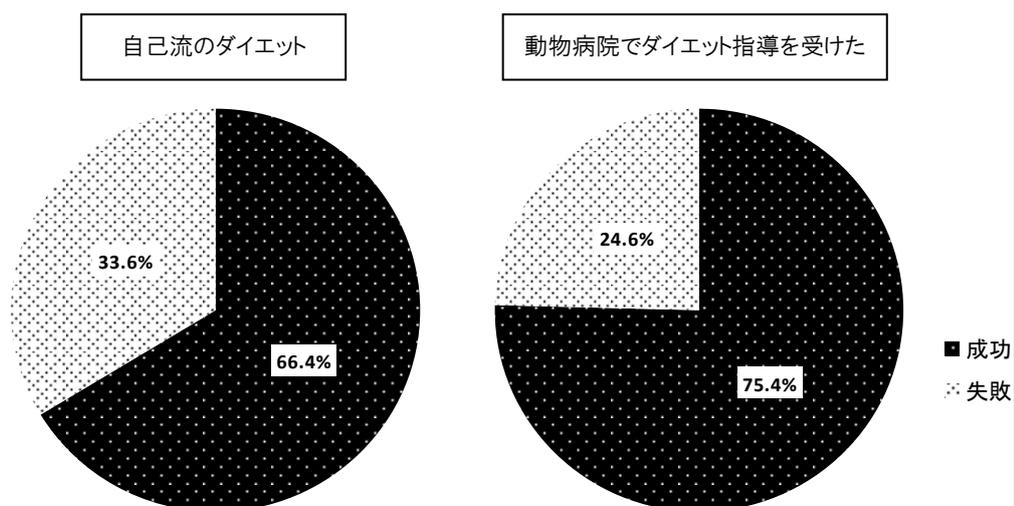
Q.自分自身のダイエットも行ったという方に質問です。自分のダイエットと愛犬のダイエット、どちらが大変でしたか？その理由も含めお教えてください。(MA)



### 3. 動物病院でダイエット指導を受けた場合、成功率は75.4%

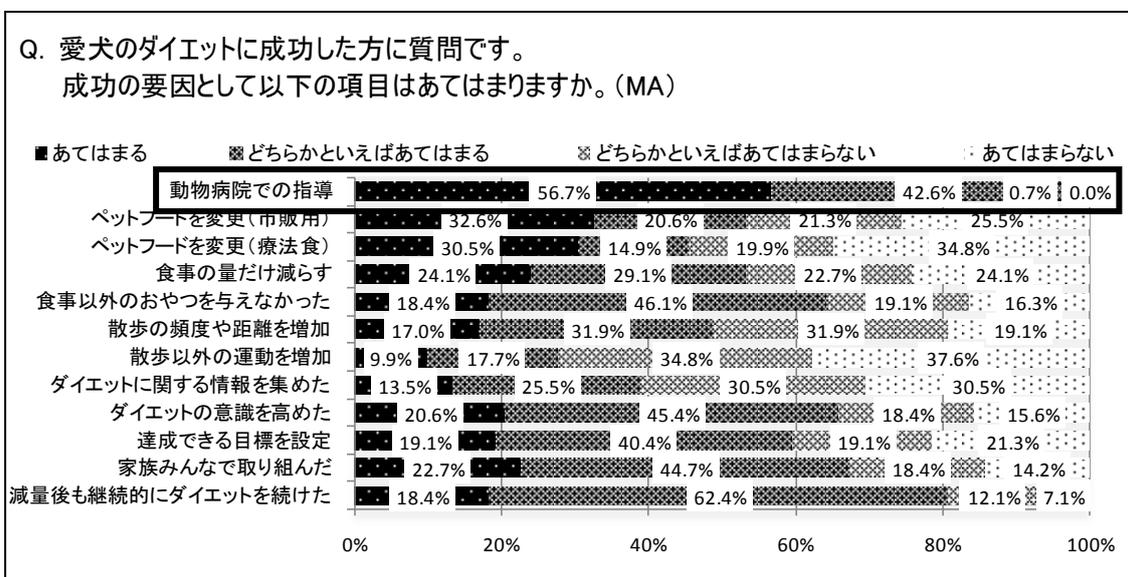
愛犬のダイエットの成功率は、動物病院でダイエット指導を受けた方の場合75.4%と、自己流の66.4%よりも約10%高い成功率になりました。動物病院でダイエット指導を受けた経験者は、非経験者と比べ、愛犬のダイエットに関する正しい知識を有している割合が高く、獣医師の指導のもとダイエットに取り組む有用性を示唆する結果となりました。

Q. 愛犬のダイエットの結果はいかがでしたか？また、そのダイエットの方法はどのようなものでしたか？  
(SA)



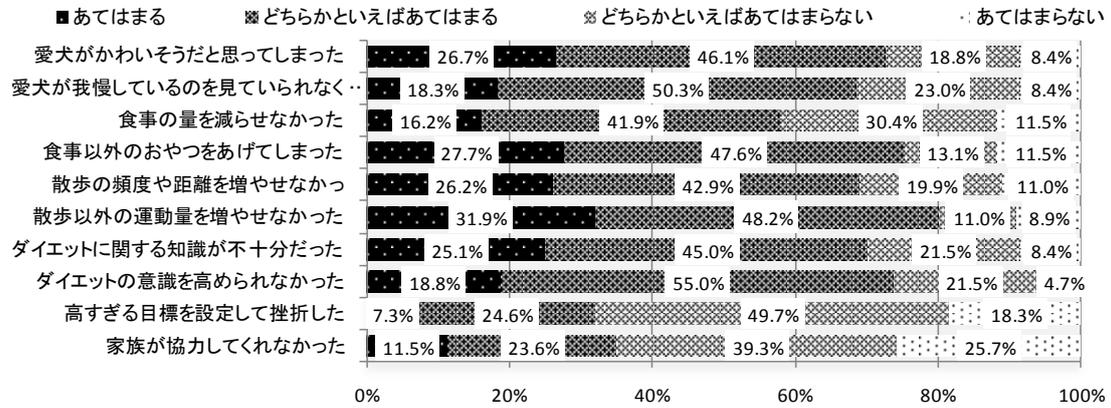
#### 4. 失敗要因は人間と同じ?! 女性ペットオーナー「おやつ」 愛犬のダイエット、成功と失敗の要因

動物病院でダイエット指導を受けた経験者141人に成功の要因を聞いたところ、「動物病院でダイエット指導を受けた」と回答した方が最も多く、99.3%。以下、2位が「減量後も積極的にダイエットを続けた（80.8%）」、3位は「家族みんなで取り組んだ（67.4%）」と続きました。一方、失敗の要因として「散歩以外の運動量を増やせなかった（80.1%）」、「食事以外のおやつを与えてしまった（75.3%）」、「ダイエットの意識を高められなかった（73.8%）」などが挙げられました。これらの事から、愛犬のダイエットの成功の秘訣には獣医師の適切な指導ということが考えられます。また、性別ごとに見た場合、男性ペットオーナーは「散歩以外の運動量を増やせなかった」、女性ペットオーナーは「食事以外におやつを与えてしまった」という回答がそれぞれ1位になるという結果になりました。以上のことから、愛犬のダイエットの傾向は、性別ごとに見ても、人間のダイエットの傾向と似ていることがうかがえます。特に女性に関しては、人間のダイエットでも愛犬のダイエットでも、大きな失敗要因として「食事制限の失敗（おやつ）」となりました。

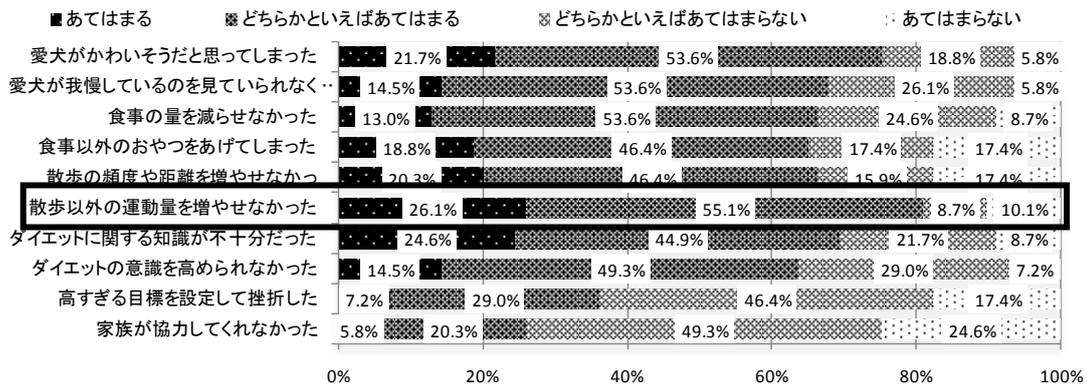


Q. 愛犬のダイエットに失敗した方(ダイエットに成功したが、また肥満になった犬を含む)に質問です。失敗の要因として以下の項目はあてはまりますか。(MA)

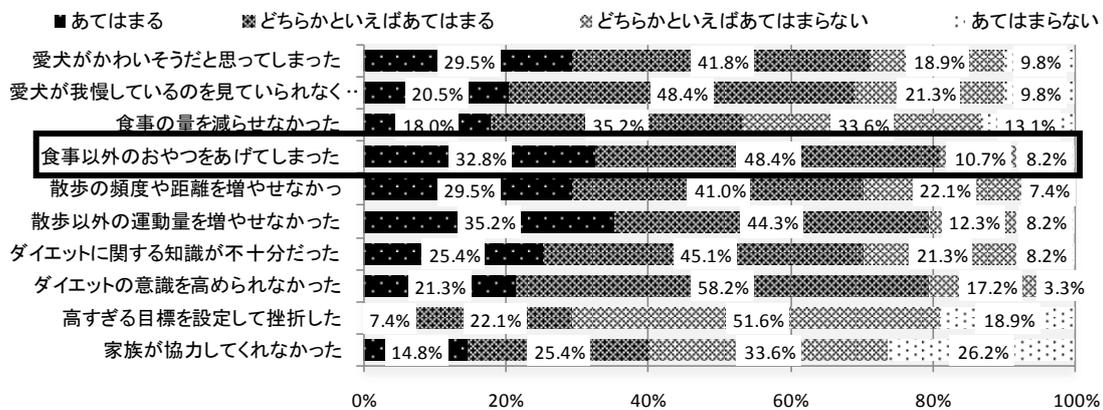
全体での失敗要因



男性ペットオーナーの失敗要因



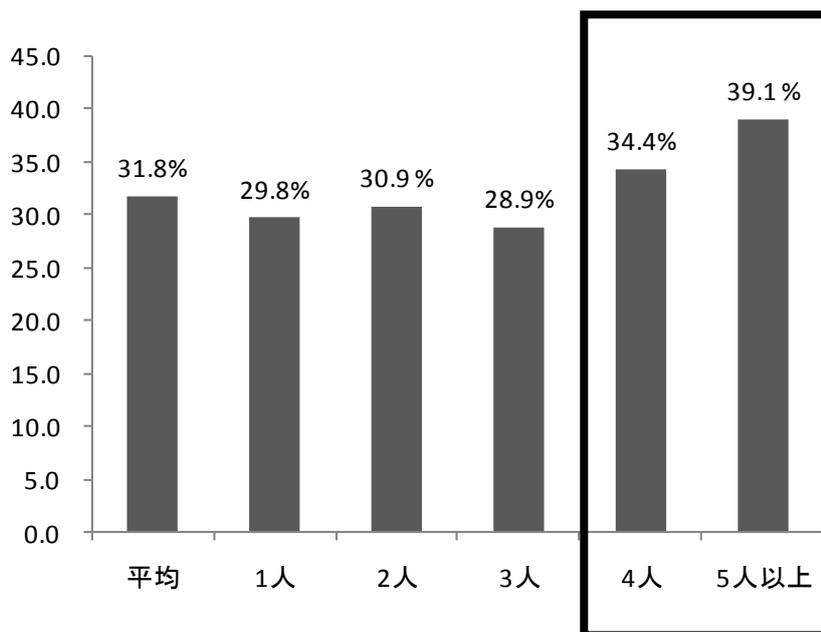
女性ペットオーナーの失敗要因



## 5. 家族が増えるほど失敗率が上昇！？ 4人以上の家族は要注意！！

ダイエット失敗率を世帯人数別で見ると、1～3人の世帯では平均値の31.8%より低い30%前後ですが、4人世帯の場合34.4%、5人以上の世帯になると39.1%と、同居する家族が多いほど失敗率が上昇する傾向にあります。家族全員が愛犬の喜ぶ姿を見たいがあまり、食事やおやつを与えてしまう回数が増えてしまうためでしょうか。愛犬のダイエットには家族全員の協力が必要ということの裏付けとなる結果と言えるかもしれません。

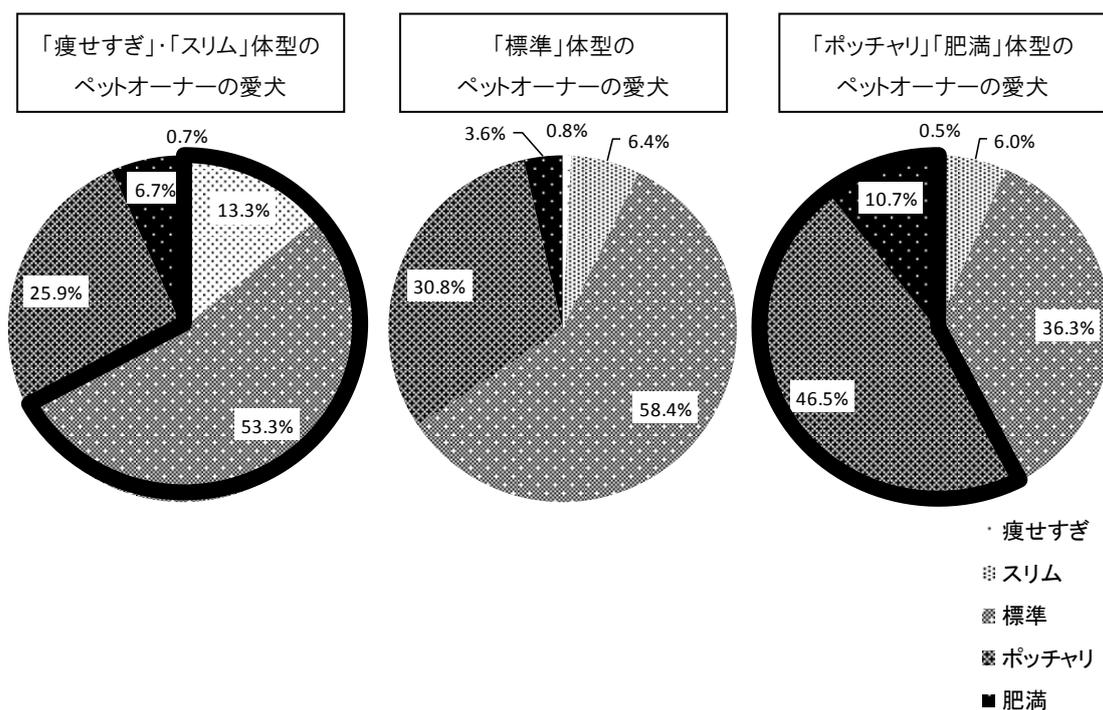
ダイエット失敗率…世帯人数別(自分を含めた同居家族人数)



## 6. 肥満気味なペットオーナーの愛犬の75%が「肥満傾向」

自身を「痩せすぎ (5.8%)」「スリム (16.7%)」と回答したペットオーナーの愛犬は「痩せすぎ、スリム、標準」が67.3%を占めました。一方、自身を「ポッチャリ (26.5%)」「肥満 (9.3%)」と回答した人の愛犬は「ポッチャリ (46.5%)」「肥満 (10.7%)」という結果になりました。また、自身を「肥満 (10.7%)」と回答した人においては、愛犬についても「ポッチャリ (51.8%)」「肥満 (23.2%)」と回答し、かつ「痩せすぎ、スリム」の回答がゼロになるなど、ペットオーナーと愛犬の体型に、強い相関関係があることを示唆しました。

Q. あなたご自身と愛犬それぞれの体型について教えてください。(SA)



## 7.もし愛犬が話せたら・・・「もっと食べたい」4割、「ありがとう」2割

「あなたの愛犬がもし話せたら、あなたの実施したダイエットに対してどう言うか」を聞いたところ、愛犬が「もっと食べたい・お腹が減った」などの食事に対する不満を感じていると考える人が約4割、「ありがとう・健康になった」などの感謝をされると考える人が約2割という結果になりました。この結果より、多くのペットオーナーが愛犬のダイエットに際し、愛犬が食事量に満足できず、おやつなどをねだっていた光景が目には浮かびます。一方、ダイエットが成功し、愛犬が活発になったと実感しているペットオーナーからは、ペットも喜んでいと捉えている傾向がうかがえました。

Q. もし愛犬が話せるなら、あなたの実施したダイエットに対して、なんとおっしゃいますか？ (FA)

1	もっと食べたい【食事に対する不満】	37%
2	ありがとう / 体が軽くなった【感謝の気持ち】	18%
3	つらい / しんどい	7%
4	ダイエットしないで/したくない	4%
5	ママもダイエットして	2%
6	食事の量が増えた/ダイエット食が美味しかった	2%
7	その他(プラス意見)	11%
8	その他(マイナス意見)	10%
9	何も言わない	1%
10	特になし	8%
	合計	100%

- ・お腹すいたよーごはんなんで減ったの？もっと食べたいよ。
- ・ごはんが少なくなって、楽しみが減った。
- ・ありがとう。歩くのが楽になったよ。
- ・おかげさまで軽くなって動きやすくなったよ！
- ・もっと元気になったよ！またいっしょにあそぼうね。
- ・私だけじゃなくてパパやママも一緒にね！！
- ・上手くいったね。
- ・徹底してダイエットしてほしかった。 等々

一部抜粋